

光化学スモッグ広報等の発令対象地域

市町	発令地域
神戸市	東 部 〔 東灘区 灘区 中央区
	西 部 〔 兵庫区 長田区 須磨区
	垂 水 〔 垂水区 西区
	北 部 北 区
姫路市	全 域 (家島町を除く)
尼崎市	全 域
明石市	全 域
西宮市	全 域
洲本市	全 域

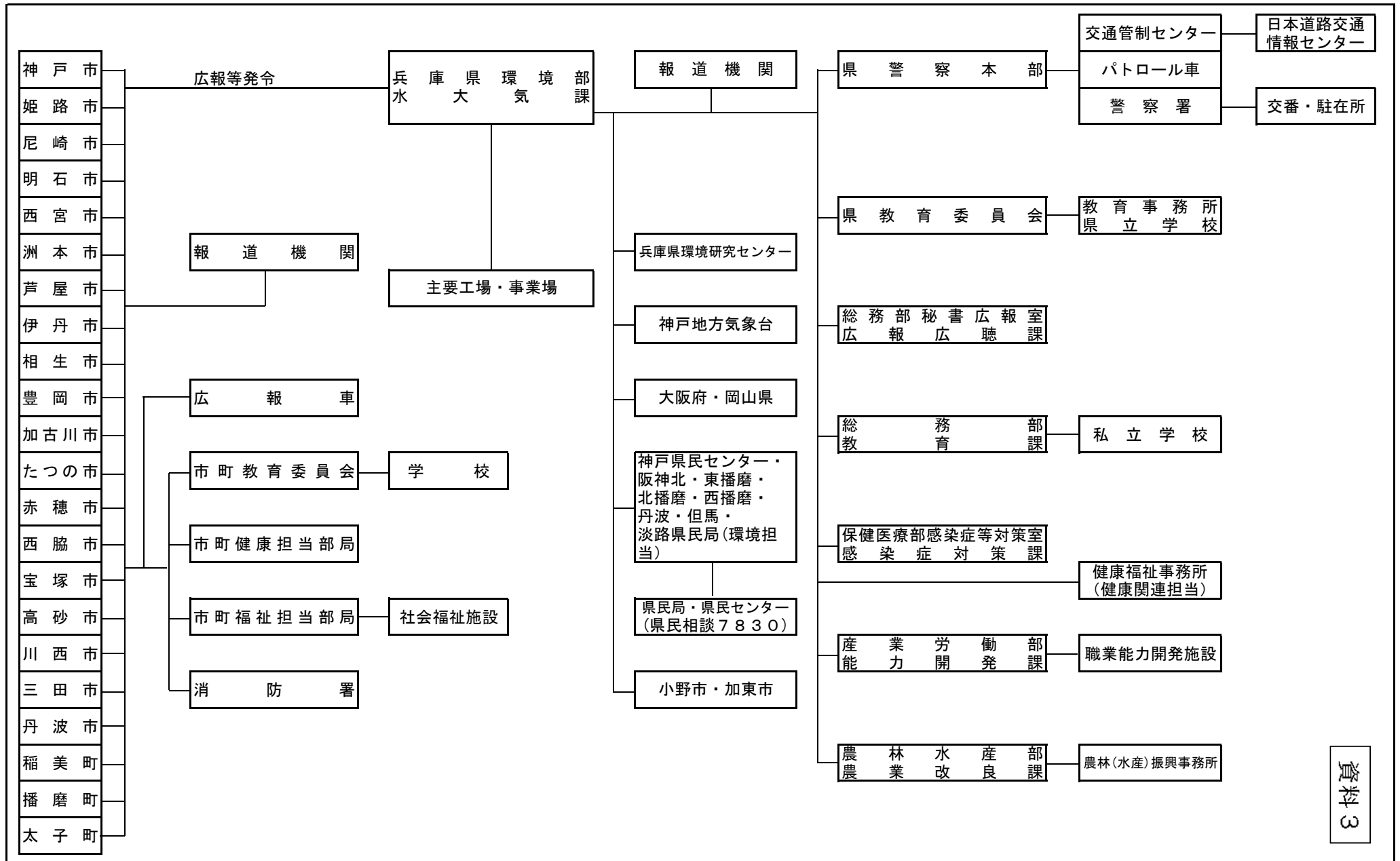
市町	発令地域
芦屋市	全 域
伊丹市	全 域
相生市	全 域
豊岡市	全 域
加古川市	全 域
たつの市	全 域
赤穂市	全 域
西脇市	全 域
宝塚市	全 域
高砂市	全 域
川西市	全 域
三田市	全 域
丹波市	全 域
稲美町	全 域
播磨町	全 域
太子町	全 域

光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置事項

発令区分	発令基準	措置事項
予報	基準測定局におけるオキシダント濃度が、気象条件等から注意報の発令基準に達するおそれがあると判断されるとき	<ol style="list-style-type: none"> 1 工場・事業場は、燃料使用量の削減並びに低窒素燃料への転換等により窒素酸化物排出量を通常の 20%以上削減すること。 2 揮発性有機化合物 (VOC) の使用は、可能なかぎり抑制すること。 3 不要不急の自動車の運転を自粛すること。
注意報	基準測定局におけるオキシダント濃度の 1 時間平均値が、0.12 ppm 以上になり、気象条件等からみてその濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底・確認
警報	基準測定局におけるオキシダント濃度の 1 時間平均値が、0.24 ppm 以上になり、気象条件等からみてその濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底・確認
重大警報	基準測定局におけるオキシダント濃度の 1 時間平均値が、0.40 ppm 以上になり、気象条件等からみてその濃度が継続すると認められるとき	<ol style="list-style-type: none"> 1 工場・事業場は、窒素酸化物排出量を通常の 40%以上削減すること。 2 揮発性有機化合物 (VOC) の使用は、可能なかぎり抑制すること。 3 自動車の運転者は、公安委員会の指示に従うこと。

別表 2

光化学スモッグ広報等連絡系統図



光化学スモッグ広報等発令時における周知事項

- 1 学校及び施設では、できるだけ屋外での運動をさげ、屋内に入ること。
- 2 目に、刺激や痛みを感じた人は、洗眼する。
- 3 のど、鼻に刺激や痛みを感じた人は、うがいをする。
- 4 症状のひどい人は、医師の手当てを受ける。

令和4年度光化学スモッグ広報等の発令状況等について

兵庫県では、光化学スモッグによる健康被害を未然に防止するため、光化学スモッグ広報等の発令を行っています。

このたび、令和4年4月20日から10月19日までの光化学スモッグ特別監視期間が終了し、発令状況等の概要をとりまとめましたのでお知らせします。

記

1 光化学スモッグ広報等の発令状況

令和4年度の光化学スモッグ広報等の発令日数は1日（予報0日、注意報1日）で、7月1日に発令しました（表1）。予報及び注意報の発令日数は、過去10年の平均（予報1.1日、注意報1.6日）と比べて大きな差はありませんでした。

表1 令和4年度光化学スモッグ広報等発令状況 ○予報 ●注意報

発令月日（曜）	尼崎市	西宮市	芦屋市	伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	神戸市※				明石市	稲美町	播磨町	加古川市	西脇市	高砂市	姫路市	太子町	たつの市	相生市	赤穂市	丹波市	洲本市	豊岡市	合計
								東部	西部	垂水	北部															
1 7月1日（金）		●							●	●													●		4	

※神戸市東部（東灘区、灘区、中央区）、西部（兵庫区、長田区、須磨区）、垂水（垂水区、西区）、北部（北区）

2 光化学スモッグによる被害報告

光化学スモッグによる被害の届出は、ありませんでした。

3 令和4年度の特徴

(1) 注意報が発令された7月上旬は梅雨前線が北上し、高気圧に覆われて晴れ間の広がった日もありましたが、台風4号から変わった低気圧や湿った空気、上空の寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。7月1日は太平洋高気圧に覆われて晴れ間が広がりました。神戸、姫路、洲本（以下「3地点」とする）での日照時間が13.5～13.9時間と長くなり、最高気温が35℃以上の猛暑日となりました。日最高オキシダント濃度が神戸市西部で121ppb、北部で124ppb、西宮市で123ppb、洲本市で133ppbとなりました。

(2) 4月から6月にかけて、8月から10月にかけては広報等の発令はありませんでした。

4月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。日最高オキシダント濃度が100ppbを超えることもありませんでした。

5月は中旬に気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、全般的に高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。29日は移動性高気圧に覆われて晴れ間が広がりました。3地点での日照時間が13.1～13.5時間と長くなり、最高気温が30℃以上の真夏日となりました。日最高オキシダント濃度が112ppbとなりました。

6月は上旬と下旬に高気圧に覆われて晴れる日がありましたが、中旬を中心に梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。2日は移動性高気圧に覆われて晴れ間が広がりました。3地点での日照時間が13.3～13.4時間と長くなり、最高気温が27～29℃と高くなりました。日最高オキシダント濃度が109ppbとなりました。

8月は太平洋高気圧に覆われて晴れ間の出た日もありましたが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。上旬と中旬に雷を伴い大雨となった日がありました。日最高オキシダント濃度が100ppbを超えることはありませんでした。

9月は中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風11号、14号、15号や秋雨前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。上旬は雷を伴い大雨となった日がありました。13日は高気圧に覆われて晴れ間が広がりました。最高気温が神戸と姫路で35℃前後、洲本で33℃と高くなりました。日最高オキシダント濃度が101ppbとなりました。

10月は高気圧に覆われて晴れた日がありましたが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日がありました。1日は移動性高気圧に覆われて晴れ間が広がりました。3地点での最高気温が29℃前後と高くなりました。日最高オキシダント濃度が102ppbとなりました。

【参考資料】

1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

発令状況及び被害届出者数の推移は、表1及び図1のとおりです。

表1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

年度	予 報		注 意 報		発 令 日 数	被害の届出者数 (人)
	日数	延地域数	日数	延地域数		
平成25年度	1	2	2	5	2	0
平成26年度	0	0	2	2	2	0
平成27年度	2	8	2	5	2	0
平成28年度	1	1	1	2	1	0
平成29年度	2	4	1	1	2	0
平成30年度	0	0	2	3	2	0
令和元年度	4	25	3	15	4	0
令和2年度	1	1	2	3	3	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	1	4	1	0
過去10年の平均	1.1	4.1	1.6	4.0	1.9	—

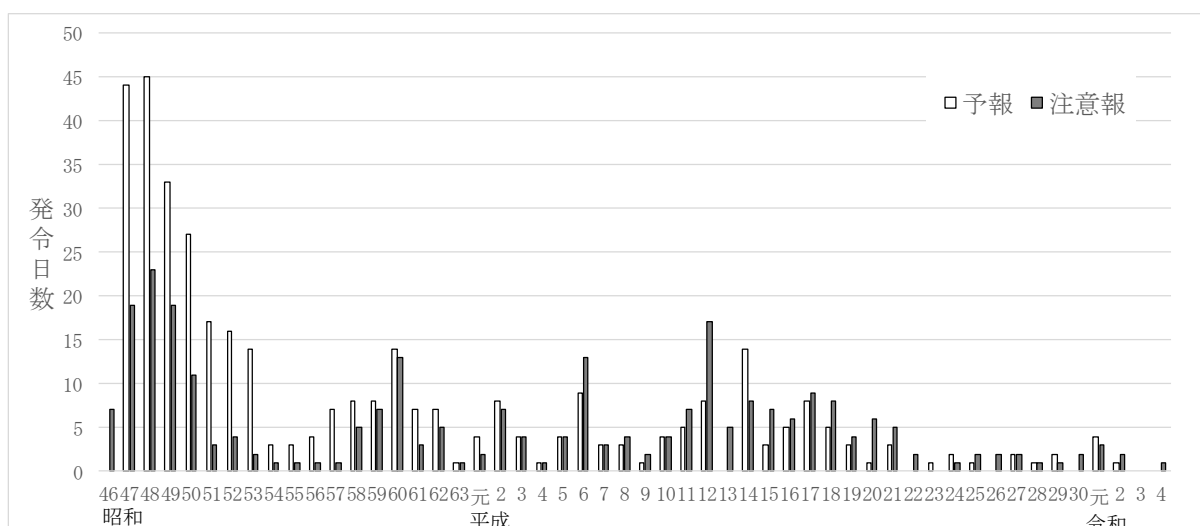


図1 光化学スモッグ広報等の発令日数の推移

2 光化学スモッグ特別監視期間中の気象状況等

(1) 梅雨入り及び梅雨明け並びに降水量

今年の梅雨入りは6月14日頃(平年は6月6日頃)、梅雨明けは7月23日頃(平年は7月19日頃)で、梅雨入りは平年より8日遅く、梅雨明けは平年より4日遅くなりました。

6月下旬から7月初めにかけて太平洋高気圧の北への張り出しが強まるとともに梅雨前線が北上し、高温、少雨となりました。7月中旬には日本の北方にオホーツク海高気圧が形成、持続し、高気圧の南側にあたる日本付近の上空では、寒気を伴った気圧の谷が持続し、雨や雷雨の要因となりました。

近畿地方における梅雨の時期の降水量平年比は85%となりました。

(2) 最高気温（神戸）

神戸市の日最高気温の月平均値は、5月：23.6℃（平年比±0.0℃）、6月：27.2℃（平年比+0.5℃）、7月：31.3℃（平年比+0.9℃）、8月：32.3℃（平年比+0.1℃）、9月：30.5℃（平年比+1.7℃）となりました。

期間を通しておおむね平年より高いか平年並みとなりましたが、図2の旬別で見ると、6月中旬は、梅雨前線や湿った空気の影響で平年より低くなりました。7月中旬は、寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、平年より低くなりました。

(3) 日照時間（神戸）

神戸市の月ごとの日照時間は、5月：219.8時間（平年比+17.2時間）、6月：200.9時間（平年比+36.9時間）、7月：206.3時間（平年比+16.9時間）、8月：209.1時間（平年比-20.5時間）、9月：178.8時間（平年比+14.9時間）でした。

図2の旬別で見ると、5月中旬は気圧の谷や湿った空気の影響で平年よりかなり少なくなりましたが、下旬は高気圧に覆われて平年よりかなり多くなりました。

6月中旬は、梅雨前線や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

7月中旬は、寒気を伴った気圧の谷の影響で平年より少なくなりました。

8月中旬から下旬にかけて、前線や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

9月上旬は、台風11号の影響で平年より少なくなりましたが、中旬から下旬にかけて高気圧に覆われて平年より多くなりました。

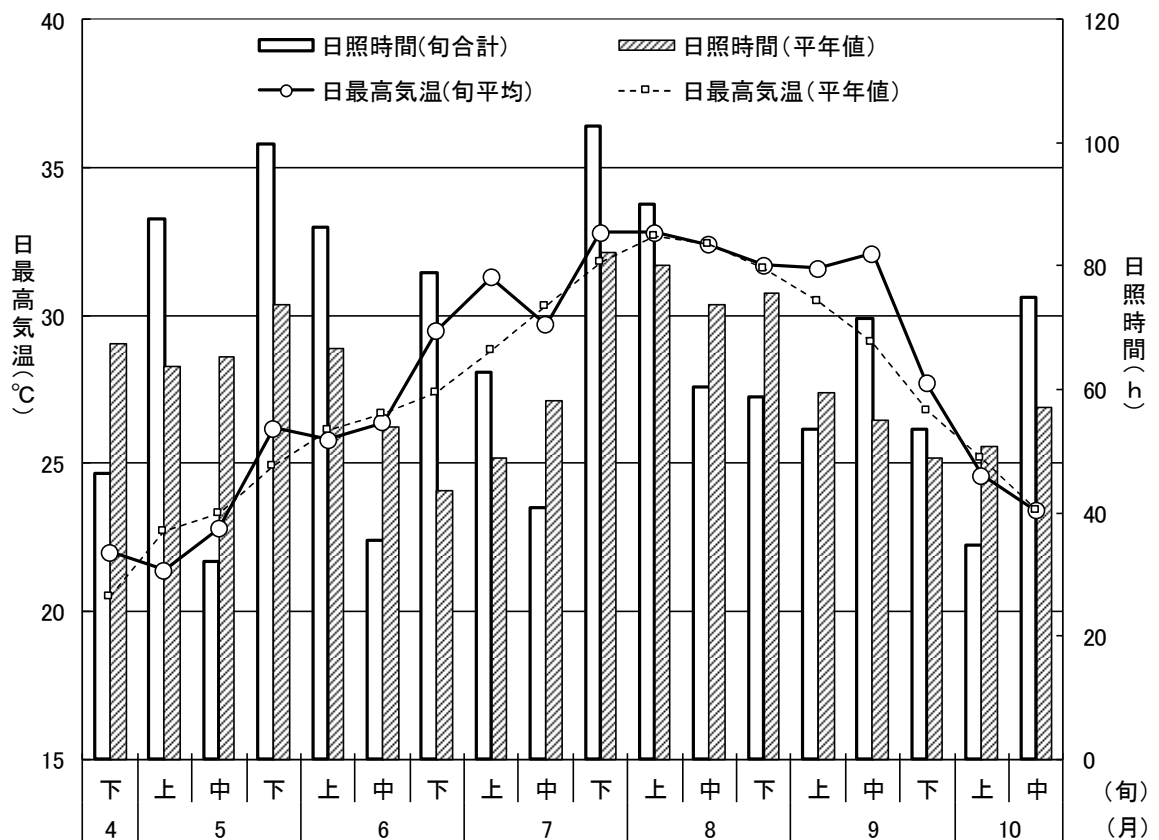


図2 令和4年度 特別監視期間中の日最高気温(旬平均)と日照時間(旬合計)【神戸】

3 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容について

光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容は、「光化学スモッグ緊急時対策実施要領」で定めています（表2）。

表2 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容

区 分	発 令 基 準	措 置 の 内 容
予 報	オキシダント濃度が、気象条件等から注意報の発令基準に達するおそれがあると判断したとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の20%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請不要不急の自動車運転の自粛要請
注 意 報	オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
警 報	オキシダント濃度の1時間値が0.24ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
重大警報	オキシダント濃度の1時間値が0.40ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の40%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請自動車運転者への公安委員会の指示